

晴天の下を歩く ～第17回青年団ウォークラリー大会～

11月29日(日)、江田船山古墳公園一帯を会場として、第17回和水町青年団ウォークラリー大会が開催されました。

当日は、66チーム、約250人が参加。子どもから高齢者まで老若男女が参加しました。青年団ウォークラリー大会は、ただ歩くだけでなく、青年団員が考えたクイズやレクレーションなどをしながら楽しく歩くのが目的です。レクレーションの中でも射的が人気で、子どもたちが真剣に的を狙っている姿が印象的でした。

昼食には、青年団員と食生活改善推進員が作ったカレーが振る舞われ、参加者はおいしそうに食べていました。



射的をする参加者

オーガニック野菜や料理を販売 ～ナゴミムラのマルシェ～

12月5日(土)、肥後民家村KINON cafe&arts周辺で、「ナゴミムラのマルシェ」が開催されました。

これは、肥後民家村の活性化と町内の農家の支援を目的として、地元の有志が企画した初めて行われるイベントです。

当日は、町内外から18の出店があり、町内で生産された無農薬野菜と、それらを使用した料理を販売。会場は、安心・安全な和水町産のオーガニック野菜を求めて訪れた約1,000人のお客さんで大賑わいとなりました。

会場では同時にワークショップも実施し、木彫作家の^{こうまつしひろ}上妻利弘さん(板楠東)による木のスプーンづくりのほか、クリスマスアロマキャンドル作りなどが催されました。

企画者は、今後も和水町産の安心・安全な野菜や心休まる肥後民家村のPRのためにまた開催したいと語りました。



ナゴミムラのマルシェの風景

子ども神楽を奉納

12月6日(日)、山森阿蘇神社で、子どもたちによる神楽が奉納されました。

神楽を奉納したのは、地元の小学生、約15人。子どもたちは、午前11時から山森阿蘇神社で奉納した後、午後から古閑熊野座神社、中林菅原神社、東吉地諏訪神社を巡り奉納しました。夜は、山森阿蘇神社へ戻り、今まで練習した成果をお披露目しました。山森阿蘇神社の子ども神楽は、200年以上の歴史があります。子どもたちは、夏休みから週に2回の練習を行い、本番では、三座をはじめとして、二人で^{こへい}御幣を持って舞う志手など九座(九つの演目)を上手に披露しました。

子ども神楽を奉納している山道流^{やまみちる きあ}輝亜くん(和仁)は、「練習の成果が出せてとてもよかった」と振り返りました。



志手を舞う子どもたち

上板楠でかかし祭り

11月21日(土)～22日(日)、上板楠で、かかし祭りが開催されました。

かかし祭りは、今年で8回目を迎え、この地域の里づくり団体である「みどりの里上板楠」が企画しました。以前は、菜の花かかし祭りとして、春に開催していましたが、今年は、秋の収穫祭として秋に開催。地元の営農組合とともに祭りを行いました。祭り当日は、わらや竹、古着などで作られたかかし約60体を展示。人間だけでなく、牛などの動物を模したかかしも作られました。また、つきたてのお餅やだご汁、おにぎりを販売し、来場者の胃袋を満たしていました。かかしは、11月30日(月)まで展示されました。



牛のかかしも作られました

関西の和水町出身者が集結 ～第9回関西和水会～

11月22日(日)、大阪市内のホテルで、関西地域在住の和水町出身者で組織される「関西和水会」の総会・懇親会が開催されました。

年に1回開催されるこの会は、約60人が参加。故郷和水町の昔話に花を咲かせ、笑いの絶えない時間を過ごしました。懇親会では、この度完成した「なごみ旅情」のビデオを職員の生歌とともに披露し、会員の皆さんは大変喜んでいました。

会員の皆さんには、ふるさと応援寄附金や社会福祉協議会への寄附など、和水町に多大なる支援をいただいています。

今後も、関西和水会との交流を図りながら、さらなるまちづくりに努めていきたいと思えます。



関西和水会に出席された皆さん

力士と園児が相撲で交流

11月27日(金)、三加和公民館に、日本相撲協会春日山部屋の春日山親方と力士3人(熊王さん、福的那さん、松栄さん)が訪れ、園児たちと交流を図りました。この交流会は、あおば保育園主催で行われ、今年で4回目。

当日は、地域の人々や社会福祉施設、小学校などから大勢の人が参加し、園児と力士の相撲対決や綱引きなどを行い、大いに盛り上がりました。園児と力士の相撲対決では、数人がかりで押してもびくともしない力士に苦戦しつつも、みんなで楽しい時間を過ごしました。

最後に、春日山部屋特製のちゃんこ鍋が振る舞われ、園児をはじめ、皆さんおいしそうに食べていました。



相撲をする園児たち